


再評価時再評価結果(平成29年度)

担当課 : 砂防防災課
 担当課長名 : 金山 壮一郎

事業の概要

事業名	通常砂防事業	事業区分	通常砂防事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県美馬市穴吹町穴吹字池ノ奥	箇所名	小屋谷		
事業概要	砂防堰堤1基 (H=13.0m L=29.4m V=1,231m ³)				
事業の目的・必要性	本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や中学校・道路等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 当地区内には、人家8戸や避難所である中学校・避難路である市道があり、地域住民の人命や財産を守るため、平成27年度より通常砂防事業に着手した。				
総事業費	170 百万円	進捗率	12%		

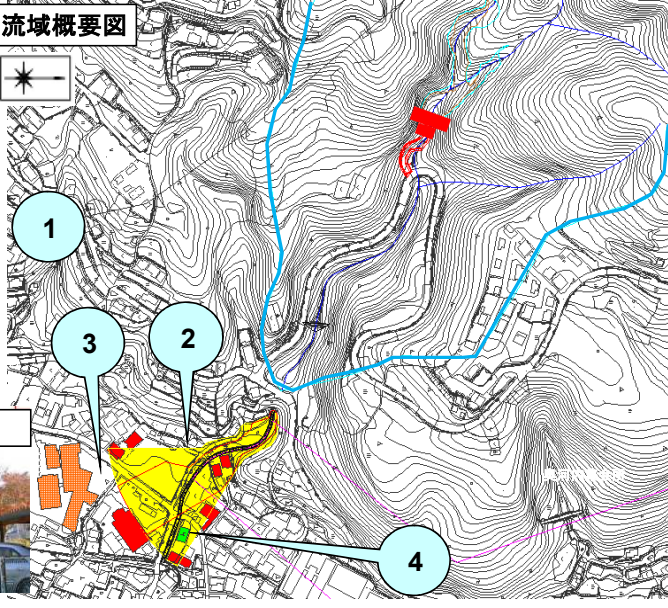
位置図 計画概要図




位置図

小屋谷通常砂防事業


流域概要図




流域概要図



①小屋谷(全景)



②保全対象(家屋等)



③保全対象(中学校)

凡例

- 砂防堰堤(予定)
- ▲ 治山施設(既設)

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	平成29年度	9.6	10.8	175百万円	工事費・用地補償費 等	1,688百万円	人家8戸、中学校 等
事業の効果等	・保全対象の人家8戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果) ・避難所である中学校、避難路である市道を保全し、地域の防災力の向上に努めている。						
社会経済情勢等の変化	当事業では土地利用や保全対象に大きな変化は無い。 また、H26.8月の広島豪雨災害やH29.7月の九州北部豪雨災害により土砂災害に対する防災意識が一層高まっており、当事業の実施においては土砂災害に対して避難所等を保全するなど防災面の向上に寄与している。						
事業の進捗状況	これまでに地形測量・詳細設計・用地測量を実施している。 現在の進捗率は事業費ベースで12%である。						
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:8.8, 事業費-10%:10.7, 工期+10%:9.7, 工期-10%:9.6, 資産+10%:10.6, 資産-10%:8.7 残事業費+10%:9.8, 残事業費-10%:12.0, 残工期+10%:10.9, 残工期-10%:10.8, 残資産+10%:11.9, 残資産-10%:9.8						
事業進捗の見込み	平成31年度の用地取得、平成33年度の完成を目指し、事業進捗を図る。						
対応方針	継続						
対応方針理由	地元からの要望も高く、保全対象も変わっていないことから総合的に判断した。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

継続の理由

想定される被害や社会的影響も大きく、事業の効果は高い。
 起業地の相続未処置地に所在不明者が存在し、用地取得に時間を要しているが、取得準備も進めており、事業進捗が見込める。
 これらの状況を総合的に判断し、通常砂防事業を継続する。